

大溝校区区長会との意見交換と議会報告会が開催された

行政区長と語る

平成24年6月29日(金)大溝校区の議員8名と行政区長15名参加

議会報告会

- 平成23年度補正予算について、町の財政は改善されつつある
- 平成24年度予算説明…知ってほしい町の予算参照
- 総務建設産業常任委員会の活動報告
昨年の区長会で話題となった「くるるん周辺のモデル農園」について調査した本会議で代表質問し、町長は約束した景観ワークショップを開催中。議会基本条例作成検討中。農業委員会との懇談会開催
- 文教厚生常任委員会の活動報告
プール改修工事の勉強会開催
介護保険の保険料改定問題の勉強会開催

要望等

- ・442号バイパス南側への不法投棄問題…フェンスを設置してほしい
- ・通学路の安全確保は、故意による人身事故発生などの社会問題があり、安全点検をしてほしい
- ・山ノ井川十間橋水門の改修…変更予算確定したので、本年度施工される

町立保育園運営委員会活動報告

- 1 活動目的** 「大木町立保育園条例 第6条」により、「保育園の運営を円滑にするため運営委員会を置く」となっている。関連条例等には、「保育の実施に関する条例」「大木町保育の実施に関する条例施行規則」「大木町保育費用徴収規則」がある。
- 2 活動実績** 平成23年度の主な活動実績は以下のとおり
第一回目は、保育所の目的と入所基準、保育所の運営状況、入所状況、私立保育園運営費委託費、保育料徴収および滞納、一時預かり、延長保育、障害児保育、についての説明があった。
委員から以下の質疑がされた。
①バリアフリーへの対応状況 ②待機児童数について
③アレルギー、発達障害児童への対応 ④小学校との連携会議の実施
⑤巡回相談について
- 3 委員定数** 議会議員5名、児童委員5名、(+事務局)

福岡県町村監査委員協議会総会研修会

日時 2012年6月5日(火)
研修会場 福岡県自治会館 201・202会議室
参加者 川村代表監査委員、中島和正監査委員、鶴岡政勝監査事務局長
研修内容 6月5日、福岡県自治会館において町村監査委員総会・研修会が開催されました。

総会において、平成23年度の会務報告から平成23年度監査委員協議会歳入歳出決算が審議され全会一致で承認されました。
その後の監査委員研修会では、講師に監査法人トーマツの松尾潤一氏をお迎えして「今、求められる監査の役割とは」と題し、自治体を取り巻く環境の変化と対応、行政評価と監査実施の姿勢を具体的な手法にわたり詳細な説明を受けました。
参加した私たちが現在の監査のあり方も含め、十分参考になる有意義な研修会でした。



あいさつをする副会長

総務建設産業常任委員会活動報告

明日の農業政策を探る!!!!

委員長/松枝友久

委員/中島征行 徳永豊 古賀泰弘 中島宗昭 松枝治幸
オブザーバ/中ノ森慎一議長

平成24年5月8日(火)議員7名と農業委員会委員14名による懇談会開催



農業委員会との懇談会

主な意見

- 耕作地を広げたいが効率のよい田畑がない
- 整備されていない改良地区外に放棄地が多い
- 狭い隣接した田んぼの畦をなくせば作れるが現実には、心情的課題、地勢的課題が多い
- 放棄地の管理費(畦草引きや粗起し)を設定してもらえれば良いのでは
- 平成24年度の予算は、花植え活動と共に、耕作放棄地対策の予算を計上している(町の広報紙、知ってほしい町の予算、参照)
- シルバー人材センターの活用事例はある
組織化でき、直接事業としていければ良いのでは…今後の研究課題である
- 「農事組合法人おおき農業塾くるるん」の設立趣旨説明が委員よりなされた
などの耕作放棄地のほか、後継者不足、空きハウス問題などの活発な議論が交わされました。
定期的な意見交換会の必要性を感じ、第一回目の懇談会を終了しました。

大木町有水路管理委員会活動報告

- 1 活動内容** 町有水路の管理に関する事項について審議し、町長に答申する(大木町有水路管理委員会設置規定)
- 2 活動実績** 平成23年度の主な活動実績は以下のとおり
第一回目は、3件(318㎡)の埋立払下申請に対する審議
第二回目は、7件(780㎡)の埋立払下申請に対する審議
すべての案件が承認されました。
- 3 定数** 町議会議員5名、農業委員会1名、環境審議会1名、消防団1名、区長会1名、農事組合長会1名(+事務局)

花宗太田土木組合とは

花宗太田土木組合とは、水利事業を共同処理するために設立された組合です。組合の設立年月日は不詳ですが、明治26年5月2日、上妻郡、下妻郡、三潞郡、山門郡の連帯土木契約書に「三潞郡大川町外20ヶ町村土木組合」と明記されてありますが、大正12年3月27日郡制廃止により、水利事業を共同処理する「大川町外10ヶ町村土木組合」として設立されました。

以降、数回の名称及び組織変更を経て、昭和30年8月18日関係市町村の合併等により「花宗太田土木組合」となり、現在の機構団体は、大川市・柳川市・大木町です。

- **業務** この組合は、①かんがい用水の疎水管理及び悪水の排除に関すること、②樋管・水門・堰、その他の施設の維持管理に関することなどの事務を行っています。
- **構成** 組合の議会議員は、大川市・柳川市各4名、大木町2名の10名で、大木町からは近藤純久、中島宗昭両議員が選出されています。
- **歳入歳出** 平成24年度一般会計予算は、歳入歳出総額1億4242万1千円で、大木町からの負担金は、2083万6千円である。